



## 年頭のあいさつ

八幡平市商工会女性部長

遠藤 一子



新年明けましておめでと  
うございます。二〇〇九年、  
平成二十一年、丑年、皆様と  
とりまして佳き年でありま  
すよう、心よりお祈り致しま  
す。昨年は女性部の事業にご  
協力頂きまして、有難う御座  
いました。

今年も丑のようにゆっく  
りと自分自身を見つめ直し  
歩いていきたいです。

# 第10回 商工会女性部全国大会 inみやざき

それまでお元気で



平成二十年十月二十七日〜二十  
八日「今日の出会いを明日の絆に！」  
女性のパワーで地域に夢を!!  
をスローガンに女性部大会が宮崎  
市で開催され、全国の女性部代表  
者三千名の参加でした。主張発  
表では福島県保原町商工会の佐藤  
京子さんが最優秀賞に輝きました。  
今年度は九月十七日岩手県での  
全国大会になります。約二千名の  
参加予定ですので、皆様のおもて  
なしのご協力をお願い致します。

## 地元学講座

# 地域の歴史文化に学び、 自然の遺産に親しむ

九月十日(水)あわただしく朝、家族  
を送りだして、集合場所からバスに乗  
り込みました。

安代地域は、秋田と青森に行く時  
通る道なのですが、どこにもゆっくり  
立ち寄った事がなかったので楽しみ  
でした。

地元のガイドさんに説明を聞きな  
がら不動の滝のまわりを散策しまし  
た。桜松社の由来を聞いたり、縁お  
すびの木にもお参りました。滝のし  
ぶきの霧のまじったマイナスイオン  
たっぷりの空気をあび、大変心地い  
運動ができました。

八幡平市博物館では、館長さんの

説明を聞きながら展示品を見学し  
ました。

なかでも私の感激した物は、時代劇  
でよく見かけるお姫様やお殿様を乗  
せるカゴです。近々このカゴをみるこ  
とができうれしかったです。

天璋院篤姫もこのようなカゴに乗  
って鹿児島から江戸にきたのだらう  
かと昔の江戸時代に思いをはせまし  
た。二階には、縄文時代の土器などが  
展示しており、何百年も昔からの八  
幡平の地で生活し、この地を形づく  
り、守ってきた人々がいたから、今の私達  
の生活があるのです。祖先  
に感謝です。次はとなりの



工場の  
漆器づくりに  
参加する  
安代漆器  
のお話

安代漆器工場を見学しまし  
た。一本の木をけずって器  
をつくり、五回もつるしを  
重ねる工程を説明してい  
だきました。かかる手間を  
考えるとあの漆器の値段は  
高値ではないと思います。  
花き開発センターでは、安

代のリンドウ産業の説明を聞き、新種  
のリンドウを見せて頂きました。日本  
全国に流通しているリンドウの四分  
の一は安代産のリンドウなのだそう  
です。希望の丘で、地元食材を使った  
手作り感満点のおいしいお昼をい  
だき、午後の見学へ出ました。

雲ひとつない秋晴れの空の下、楽し  
く地元を回り学習させて頂き、大変有  
意義な一日になりました。協力して下  
さった安代地域の皆さんありがとうございました。  
(D.L.I.I.I)

## 定期検診を受けましょう。

食生活改善推進連絡協議会、保健  
推進協議会、市役所、商工会女性部  
の四団体で「Mayu」という映画  
の上映実行委員会を立ち上げました。  
若い『まゆ』さんが乳癌になり家  
族やまわりの人達に支えてもらいな  
がら健気に生きるという内容です。  
八幡平市は婦人科、乳癌検診と共  
に受診率が低いので、各団体の会長  
さんが上映の前に「早期発見のため  
に検診を受けましょう」と呼び掛け  
ました。入場券の売上目標を四〇〇  
枚としましたが、最終的に倍以上の  
九八一枚の売上げがあり、たくさん  
の人達に見ていただきありがとうございました。  
(秋子)

# 女性部視察研修

## 久慈琥珀と、塩作りを体験。

今年の研修旅行は十月一日に、久慈方面に行ってきました。抜ける様な青空のもと、皆で和気あいあいと楽しい一日を過ごしました。

まず最初は、久慈琥珀博物館を見学しました。静かな森の中に博物館の建物が点在しており、素敵なしストラップもあって、とても良い雰囲気でした。博物館の方から説明を受けながら見学し、実際の坑道跡にも行ってみました。

次に、野田の「えほし荘」に移動し、塩作り体験をしました。土鍋の中の海水をしゃもじで攪拌しながら水分を飛ばし、塩を作るというシンプルな作業でした。



視察研修会に参加した皆さん

▲塩作りを体験  
楽しく塩作りを体験することが素晴らしいと思います。今回の研修も、ただ楽しいだけでなく、私達にとって参考になる有意義な研修旅行だったと思います。次回の研修を楽しみにしています。

(孝子)

が、思いの外暑中になりました。約二十

gの天然塩（一人分は、後味が甘く、家に帰ってからオリーブオイルを使用してみましたが、おいしいと家族に好評でした。

えほし荘は、太平洋を望む高台に建つ眺めの良い宿です。食べきれない程の海の幸のおいしい昼食を戴き、その後、久慈の街の駅「やませ土風館」を見学しました。

「やませ土風館」は、物産館の他に、三口館という昔のおもちゃを集めたミニ博物館や勇壮な秋祭りに使用される山車の展示コーナー、その他写真で久慈の歴史をたどれるコーナーなどあり、ただ単に物産の販売をするだけでなく、複合的な施設であることが素晴らしいと思います。

今回の研修も、ただ楽しいだけでなく、私達にとって参考になる有意義な研修旅行だったと思います。次回の研修を楽しみにしています。

(孝子)

平成二十年十月十一日〜十三日の三日間、八幡平市さくら公園イベント広場で八幡平山賊まつりが開催されました。女性部として、バザー・うどん・コーヒの販売とフリーマーケットを行いました。

## 八幡平山賊まつり

喫茶・うどん・バザー・フリマを出店

盛り沢山。様々なお店が並び、市内はもちろん周辺地域からもお客様が来場されました。

「うどん」部門の食券担当員さんから「何人分です」の声に「有難うございます」の威勢の良い掛声。また、Aさんは「うどんの美味しさは、だ



美味いコーヒとバザーのサービスを添えて



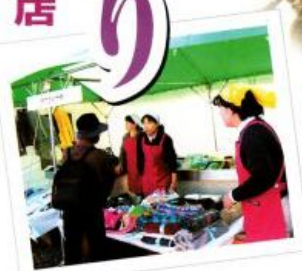
明るさと美味しさで盛況だったうどん部門

「お買得価格」も魅力だったと思います。晴天にも恵まれて、天ぷらうどんは二日間売り切れました。売上高は三五、〇九円で、その内二〇、〇〇〇円を歳末たすけあい募金へ献金されたとの事、それもこれも部員皆様のご協力ご苦労様でした。心より感謝申し上げます。

(アツ子)

めた後の湯切りが大事」と教えてくれて、手順よい流れ作業で、賑やかに、元氣よくお客様に対応されました。

フリーマーケット部門も大勢のお客様で賑わいました。お店の間口が少し狭い様な気がしましたが、部員の方々と商品の陳列



▲お買得商品が並びフリマ部門

に色々と工夫をしながら価格の文字も大きめに付け、お客様の目を引くように心掛けました。お客様の中には知っているお顔もあり気軽に声もかけて下さる方もあり、又、販売にもつながり、うれしく思いました。通常では買えない「お買得価格」も魅力だったと思います。晴天にも恵まれて、天ぷらうどんは二日間売り切れました。

その内二〇、〇〇〇円を歳末たすけあい募金へ献金されたとの事、それもこれも部員皆様のご協力ご苦労様でした。心より感謝申し上げます。

(アツ子)

## 歳末助け合いチャリティー芸能大会

「みんなで明るいお正月を！」

安代地区社会福祉協議会主催の歳末助け合いチャリティー芸能大会が十一月十六日、荒屋と田山の二会場で行われました。協力券は一枚三百円。荒屋会場の安代地区体育館では園児から小・中学生、地域のお母さん方、老人クラブ等による歌や器楽演奏、踊りなど多彩な出し物で盛り上がり、ました。各女性団体によるバザーでは手打そば、味噌付タンポ、おにぎり等が出され、当女性部ではアツアツの肉まん、あんまんを百八十個、たこやきも二百パック、お茶八十本を準備しましたがほとんど完売しました。売上の中から一部を社会福祉協議会へ寄付をさせて頂きました。地域の皆さんが明るい気持ちでお正月を迎えられるよう少しでもお役に立てればと願っています。

(アツ子)



● 会報部会取材旅行

街を上げてのイベントで  
地域を盛り上げる！

葛巻商工会  
女性部の  
きま

平成二十年九月二十九日(月)。久しぶりの快晴の空の下、女性部活動の取材に葛巻町商工会へおじゃました。近藤部長さんと女性部担当事務局さんに色々お話を伺いました。

部員数は七十八名。活動としては「夢

あかり」作り。材料は紙粘土で適度に薄く伸ばした生地に思いおもいのデザインの色をへり抜き、筒状にして乾燥させ、内、外に黄色や赤、黄緑など好みの色づけをしたら出来上がり。二日目で仕上がるこの事。カラフルな灯りを楽しめる素敵なお祭りでした。後継者部会(つぼみ)の会もあつたが中々続かなかつた。事業の度に人集

めに苦慮しているのはどちらも同じでした。

一昨年、活性化委員会を商工会、農協行政で立ち上げ、現町長になってからは、街中でイベントをするようになってきました。

近藤部長さんの思いとしては、「全部新しい事はかりではなく、古いものでも良いと思うものは引き継いで行きたいと考えている。今現在は来年二月に行われる女性部三十周年記念式典をこのように運営するが、忠案中心の事。お忙しい中おじゃまさせて頂き、大変お世話になって参りました。

(トシエ)

葛巻町商工会の主な取組

- 街おこしイベント  
年4回のイベントを開催している。土曜市を開催するなどして、週末の消費者の流出に歯止めをかける。  
・二月 雪だるまづくり  
・六月 ソバがきフェスタ(ふんわりとしたモチが好評)  
・八月 ピール祭り  
・十月 新ソバまつり
- 商工祭を開催 10月25~26日
- 産直でフリーマーケット(古着を売る)
- 忘年会などは地元の商店を使っている



いわて  
女性のつどい

二月二日「平成二十年度いわて女性のつどい」が県民会館において行われました。県下各地から十二の女性団体の代表一三〇〇人が参加し、当女性部からも遠藤部長以下五名で参加してきました。

午前は「医師不足の岩手での地域医療をどう守っていくか」と題し八角病院副理事長の樋口紘氏による講演がありました。

昼食をはさんで達増知事の挨拶の後「脳卒中になったとき」をテーマに発症期から訪問看護までの過程を五段階にわけ、各分野のエキスパートの方達から発表がありました。

岩手県は脳疾患の死亡率が全国ワーストと聞いています。身近なテーマだけに大変参考になりました。

(英子)



「いわて女性のつどい」に参加したメンバー

強く逞しのお母さん



著 東 とし

若い時から親しくしていたNさんが昨年十一月、百一歳で亡くなりました。祭壇に飾られた写真は「ニコ」笑って昔のまんま、本当に笑顔の美しい素敵なお母さんでした。アー達いたいな、懐かしいな。フツと思います。

彼女は十七歳の時に結婚して十人の子供に恵まれました。私が始めて出会った頃、四十代半ばのNさんは、いつも子供達に囲まれ明るく笑い声の絶えない幸せそうなお母さんだったのを覚えています。今十人の子供の内二人が亡くなり八人は皆健在です。八十三歳になる長男は四人の子供がおり、その子供には又六人の子供がいる。他の兄弟にもそれぞれ子供や孫、ひ孫と子孫が末広がりになつて増え

百歳の時には数えきれない程の大家族になつていました。子供達の中にはイギリスやスペイン等遠い外国で暮らしている人もいて、葬儀の時前後の日はお祝か見まう程賑やかでした。そうですね。百歳ともなればもうお祝なんですよ！何とも羨ましい光景ではありません。

思えば百歳の人には百年の歴史があり、その時その時代の得難い物語が

あると思うのです。Nさんも私も体験した同じ時代、それは半世紀以上も前のこと。

当時平館には水道もガスも無く暖房は木炭が主力でした。電話は公共施設にしか入っていません。そして何と言っても一番苦労したのは水でした。飲料水はバケツを天秤にして両肩にぶら下げ井戸まで水汲みに行つて水瓶に溜めておきます。誰もが水を節約して使いました。又洗濯は近くの川。よく川で洗濯物を流して竿を持って追っかけて川岸を走つたの思い出します。特に寒中の洗濯は辛かつた!!川に水が張って凍えそう。若くないと出来ません。水を使う風呂は朝のうちに川の水を運んでおいて新であたためます。シャワーとか朝シャンなどとても無理な話ですね。食物については農家が多いので野菜主導型、魚店は一軒だけ、肉店は残念ながら有りません。何方行事があると家庭で飼育している鶏が馳走でした。今のフライヤーとは比較にならない美味しい肉で貴重な食べ物です。ご飯はかまどで薪。うっかりすると黒焦げになり、よく焦飯を食べたものでした。病気の時は開業医が二軒で「ひげさん」と「青さん」と渾名で呼んだ先生が大活躍。ヘニシリンの全盛時代でした。

強く逞しく生きてお母さんの話しは誌面の都合で之にて終了します。いつか又続編をお楽しみに。

# 我が街の

# 元気印!!

●今回のお店

●大更 ●  
「マルタカ」さん



皆さんご覧になりましたか？大更駅前通りからフーガの広場を挟んだ通りのイルミネーションがとってもきれいなんです。地域を元気にしようとする方達の頑張りや伝わってくる思いです。そこで見つけた元気なお店、皆さんよくご存知の「マルタカ」さんです。とびこみでしたが気さくにお話しを伺う事ができました。お店の中はファンシーグッズ、化粧品、手芸用品等カラフルな商品でいっぱいです。さて元気なお店という事で、社長さんも奥さんも『そんなことないですよ』と謙遜なさいましたが、何気ないお話しの中で、社長さんは外からの情報をどんな小さな事でも持ち帰り、それに対して奥さんは接客と一言一立場で意見を言いつ、時には喧嘩ごしになることも。

でもそこは夫婦、仲直りも早いとか。違う角度からの意見が一致したら、社長さんは外へ発信、奥さんはお客様に反映させる。そこには家族の参加もなくてはならないそうです。元気なお店もさる事ながら元気になる為に夫婦、ご家族が楽しく努力をなさっていらっしやるんです。それとお母様のおすすめ、美顔エステを始められたそうです。家事、仕事の合間にやすらぎタイムはいかがでしょうか。(暁子)



マルタカさんはご家族で「元気なお店」づくりに取り組まれている

## 商店活性化事業

## ぶらっこのり 体験工房

十一月一日、岩手県商工会連合会主催商店街活性化事業の一環として安代地区荒屋新町で行われました「ぶらっこ」二日体験工房」に当部員の事業所の以下五店舗が参加協力しました。

- 一、田鎖豊店 田鎖サツ子さん
- 二、ふうせつ花 石田 信子さん
- 三、羽沢製菓 羽沢 厚子さん
- 四、勝田屋 勝又 紀子さん
- 五、羽沢やき店 羽沢 利江さん

初の試みでしたがこの事業を通しての五部員の声を紹介します。  
・事前準備が結構大変だった  
・試食が喜ばれた



子供達とふれ合い、八幡タイラーもイベントに協力



体験工房をあとずれ楽しい時間を過ごす近隣の皆さん

・夫婦での参加も  
多く楽しそうだった  
・もてなしの心が伝わったと喜ばれた

今後の課題  
・体験から試食さらに販売までスムーズにもっていくにはもう少し積極的でもいいかも  
・今後、日祭日に申し込みが集中すればハイシーズン時の対応が大変

このような意見を事務局の方にも伝えたいと思います。またこの事業には女性部も休み処に部長ほか多数協力参加し、マスコミにも取り上げられ成功裡に終えることができました。(英子)

## お知らせ

●平成二十一年度八幡平市商工会女性部の通常総会を四月下旬に松尾地区で開催予定です。今回は役員の変更の時期でもありたくさんのご出席をお願い致します。

●第十一回商工会女性部全国大会が九月十七日、岩手県での開催が決定しています。全国から二千名の参加が見込まれていますので皆様のご協力をお願い致します。

## 編集後記

昨年は秋以降の急激な景気悪化でテレビをつけば雇用不安のニュースばかり。これからの若者が未来に希望をもてなくなるのではと心が痛みます。

そのような中でも紙面を見ますと部員の皆さんが様々な活動を明るい笑顔で参加されていることに励まされる思いです。広報係りも今年も皆さんに情報発信しながら楽しんでいただけるよう頑張っていきますので宜しくお願い致します。(英子)